

教科名	家庭科	週時間数	1時間	学年	1年
使用教科書 及び 副教材等	東京書籍 新編 新しい技術・家庭 家庭分野～自立と共生を目指して～ ファイル(アイボリー) ※3年間使用 食育ドリル※購入予定				

学習のねらい		○家族・家庭の機能について理解を深め、衣食住について、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身につける。 ○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を考え実践し、表現したりふり返ったりするなど、これからの生活をより良くしようと課題を解決する力をつける。 ○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、より良い生活を実現するために、生活を工夫しようとする姿勢や態度を身につける。			
目指す姿		支え合う	○グループ活動や実習を通して、仲間と関わり合い、自分の意見を伝えたり、他者の考えを受け入れ認めたりすることができる姿。 ○生活の中から見いだした問題について、課題を設定し、すでに習った知識や身につけた技能をもとに、また、仲間からの意見をふまえて、計画を立てたり、実践しようすることができる姿。		
		高め合う	○生活の中から見いだした問題や事象について、自分なりの考えをもつことができる姿。 ○課題を解決するための計画・実践や、話し合い活動、実習などを通して、自分の考えを見直したり、仲間からの意見をふまえて、新たな考えをもつことができる姿。		
学習の進め方		【学習への取り組む姿勢】 ○学習に必要なものを大切にしましょう。安心・安全に実習を行いましょう。 ○自分の考えをもち、積極的に発言したり、仲間と交流したりしましょう。グループ活動に取り組みしましょう。 ○ポートフォリオ、ジャーナルには、自分の考えや学びをしっかりと記録していきましょう。 【提出物】 ○学期に1回(テスト前)に、ファイルチェックを行います。必ず提出しましょう。 【家庭学習】 ○課題、宿題が出ます。学んだことを活かして課題や実習に取り組みしましょう。 ○テスト前にはプリントなどをよく見直しましょう。 【端末の活用】 ○意見や考えの共有、スライドやプレゼン資料の作成などの場面で使用します。 ○カメラを使用して成果物を記録したり、クラスルーム上で課題を提出したりします。			
定期テスト		出題方針	○授業で学んだ知識や、それにかかる技能が身につけているか確認する問題を出题します。 ○学んだことをもとに、身近な問題についてあなたがどう考えているか、どのように解決しようとするかを問う問題を出题します。		
			1学期中間	実施しない。	
			1学期期末	○教科書P12～15、28～47 ○授業で学習したプリント	
		範囲 (予定)	2学期中間	実施しない。	
			2学期期末	○教科書P48～115 ○授業で学習したプリント	
			学 年 末	○教科書P116～165	
評価方法	観点	評価の方法		評価について	
	知識・技能	○定期テスト ○技能テスト ○ポートフォリオ、パフォーマンス課題 ○実習課題		・テストの「知識・技能」に関する問題を80%以上解答できている(A評価)。 ・生活の自立に必要な知識について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけているかを評価する。 ・ポートフォリオは、その課題に合わせたルーブリック評価表をもとに評価する。	
	思考・判断・表現	○定期テスト ○ふり返りの記述内容 ○課題設定・解決の取組 ○ポートフォリオ、パフォーマンス課題 ○スライド等の発表、その成果物		・テストの「思考・判断・表現」に関する問題を80%以上解答できている(A評価)。 ・ふり返りの際、家族・家庭生活に係る生活事象を協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点でとらえ、自分なりの考えをもち、自身の考えの変容やこれまでの学習についてふり返ることができているかを評価する。 ・課題設定・解決の過程において、既習事項と結び付けて考えたり、他の人の意見や考えをもとにしてよりよい方法を考えたりすることができているかを評価する。 ・ポートフォリオは、その課題に合わせたルーブリック評価表をもとに評価する。	
	主体的に学習に取り組む態度	○定期テスト ○ふり返りの記述内容 ○ポートフォリオ、パフォーマンス課題 ○ジャーナル		・テストの「主体的に学習に取り組む態度」に関する問題を80%以上解答できている(A評価)。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしているかを評価する。 ・学んだことを実際の生活の中で実践しようとし、具体的な場面や方策を挙げて考えることができているかを評価する。 ・その時間の学習をふり返って自身の課題を挙げ、それを改善するために具体的な方策を考え、次の時間に実践しようとする姿が見られるかを評価する。 ・ポートフォリオは、その課題に合わせたルーブリック評価表をもとに評価する。	

R7 家庭科1年 年間授業計画書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4		家庭分野のガイダンス	1	
		食事の役割と中学生の栄養の特徴	食事の役割	1	
			私たちの食生活	1	
	5		栄養素の種類と働き	1	
			中学生に必要な栄養	1	
		中学生に必要な栄養素を満たす食事	食品に含まれる栄養素	1	
	6		6つの食品群と食品群別摂取量の目安	1	
			バランスの良い献立作り	1	献立を考える, 食習慣を工夫する等のパフォーマンス課題
		調理のための食品の選択と購入	食品の選択と購入	1	
			生鮮食品の特徴	1	
	7		加工食品の特徴	1	
			食品の保存と食中毒の防止	1	
2	8				献立を考える, 食習慣を工夫する等のパフォーマンス課題
	9	日常食の調理と地域の食文化	日常食の調理	1	※調理実習は, 感染症の拡大状況等に応じて実施を判断します。
			●いつも確かめよう 調理の基礎技能	1	
			野菜・いもの調理	1	
	10		肉の調理	1	
	11		魚の調理	1	
			調理実習計画・実習	3	
			日本の食文化と和食の調理	1	
3	12	持続可能な食生活	持続可能な食生活を目指して	1	
	1	私たちの衣生活	衣服の役割	1	
			私らしさとT.P.O.ー着方の工夫ー	1	
			衣服計画と必要な衣服の選択	1	
			日本の衣服の文化	1	
	2		衣服の手入れ②ー衣服の選択と保管ー	1	
			●いつも確かめよう 衣服の選択と保管	1	
			衣服の手入れ①ー衣服の補修ー	1	
			●いつも確かめよう 衣服の補修	1	
	3	生活を豊かにするために	被服実習	5	基礎技能を活かした制作活動※予定